

児童教育学科

4年間のカリキュラム

1年次から専門教育の科目を学び、2年次から実習を行い、保育者・教育者としてのスキルと素養を養います。

	1年次以上	2年次以上	3年次以上	4年次以上
専攻科目 保育・福祉に関する科目	保育学 <small>ZOOM IN</small>	◎保育原理 保育者論	乳児保育Ⅰ 保育実践演習 障害児保育論	乳児保育Ⅱ 保育学特講
	福祉学	児童福祉学概論 社会福祉学 社会的養護Ⅰ・Ⅱ	介護概論	相談援助・保育相談支援 高齢者福祉論
	健康学		子どもの保健 子どもの健康と安全	子どもの食と栄養
	保育内容の研究	保育内容(人間関係)	保育内容(健康) 保育内容(言葉) 保育内容総論 保育内容(環境) 保育内容(表現) カリキュラム論	教育方法論 教育の方法と技術
	保育実習			保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ 保育実習Ⅱ・Ⅲ
専攻科目 教育・心理に関する科目	教育学	◎教育の理念と歴史 人権教育論 生徒指導論(進路指導を含む) 教育の制度と経営 同和教育論	教師論 福祉教育論 道徳教育の理論と方法 教育の課程と方法 障害児教育論 特別活動・総合的な学習の指導法	教育哲学 教育法学 比較教育学Ⅰ 教育人間学 教育社会学 外国語活動論 近代教育史 家庭教育学
	教育心理学		◎子どもの発達と学習 特別支援教育概論 ◎発達心理学Ⅰ 子どもの理解と援助 発達心理学Ⅱ	心理学研究法 教育相談(子ども理解を含む) 臨床心理学Ⅰ・Ⅱ 心理学研究法 認知心理学Ⅰ・Ⅱ 心理学基礎実験演習 人格診断法 教育心理学実験演習 教育相談
	教材研究	<small>ZOOM IN</small>	国語科指導法 算数科指導法 生活科指導法 社会科指導法 理科指導法 外国語科(英語)指導法	音楽科指導法 体育科指導法 図画工作科指導法 家庭科指導法
	情報処理	教育情報処理 情報処理応用Ⅲ 情報処理応用ⅠA～ⅠE 情報活用基礎		
	教育実習		教育実習指導(幼・小)	教育実習指導(幼・小) 教育実習Ⅰ～Ⅳ
	教職実践演習			教職実践演習(幼・小)
専攻科目 教科研究に関する科目	国語	国語学概論Ⅰ・Ⅱ 国語表現学		児童文学
	社会		社会科概論 地理学Ⅰ・Ⅱ 歴史学	
	数学		数学概論Ⅰ～Ⅲ 数学総論	
	理科		理科概論Ⅰ・Ⅱ 化学概論 生物学概論 物理学概論 地学概論	
	生活	生活科概論		
	音楽	音楽A(器楽入門) 音楽A(器楽基礎)	音楽A(器楽応用) 音楽B(声楽応用) 音楽理論 音楽B(声楽基礎) 音楽C(合奏または合唱)	電子楽器奏法 音楽概論Ⅰ・Ⅱ
	図画工作		美術概論 造形基礎Ⅰ・Ⅱ 造形応用Ⅰ・Ⅱ	
	体育	幼児体育(実技基礎) スポーツ科学概論 スポーツ健康論 幼児体育(実技応用) スポーツ技術論 スポーツ史	体育概論	幼児体育概論 体育実技Ⅰ～Ⅲ 生涯スポーツ方法論
	家庭		家庭概論Ⅰ・Ⅱ	
	外国語	小学校英語		
専攻科目 その他	◎基礎演習		◎演習Ⅰ	◎演習Ⅱ ◎卒業論文
関連科目	その他	基礎統計学	自然科学特殊講義 社会保障概論Ⅰ・Ⅱ	外国語コミュニケーション

※その他、共通科目があります。P.36～37参照

◎：必修


ZOOM IN カリキュラム

保育原理 <p>この講義では、保育に携わるために修めておきたい全般の理念や基本的知見を学びます。具体的には、幼児教育の源流とその推移、保育者の専門性と子どもの育ち、保護者や家庭との関係性、保育計画を構想するための理念と技術、幼小保の連携問題、世界の中の日本の保育などについての事柄です。子どもの視座に立って保育を行うための“いろは”を学びます。</p>	教育情報処理 <p>この講義では、教育に携わるために修めておきたいICTスキルを学びます。具体的には、各教科教育での活用法、子どもの学修や生活状況などに係るデータ管理および教育へのフィードバック方法、学校園内外での事務処理や情報発信に必要なドキュメント・プレゼンテーション作成方法などについての事柄です。ICT機器を教育に活用するための“いろは”を学びます。</p>
---	--

TOPIC

卒業論文中間発表会

児童教育学科4年生は、卒業論文が必修となっています。例年12月上旬にゼミごとに、あるいは複数のゼミが合同で中間発表を行います。パワーポイントやレジュメを用いた発表や、芸術系のゼミでは、製作の展示やホールなどでのパフォーマンスも行われます。中間発表会は、4年生にとって卒論仕上げの最終チェックの意味だけでなく、3年生にとって、卒論のイメージづくりや2年生のゼミ選別に役立っています。



教員紹介

安楽 和夫 教授 [数理統計学]	塩野 正明 教授 [物理学]
藤永 豪 教授 [環境地理・生活科概論・生活指導法]	渡邊 均 教授 [音楽教育学・声楽]
深谷 潤 教授 [教育哲学]	米谷 光弘 教授 [幼児健康学]
古田 雅憲 教授 [国文学・国語学]	平松 愛子 准教授 [器楽(ピアノ)]
門田 理世 教授 [幼児教育学・乳幼児教育学]	鹿島 なつめ 准教授 [発達心理学]
倉元 綾子 教授 [子どもの食と栄養・家庭科指導法]	高野 一宏 准教授 [スポーツ科学(剣道)]
黒木 重雄 教授 [絵画表現]	細川 美幸 講師 [保育学・乳幼児教育学]
松村 敬治 教授 [化学]	中尾 かおり 講師 [年少者言語教育]

教職教育センター ※教職教育センター所属の教員も児童教育学科の専攻科目を担当します。

田代 裕一 教授 [教育方法学]	川上 具美 准教授 [地歴科教育・社会科教育]
田中 理絵 教授 [教育社会学]	雪丸 武彦 准教授 [教育行政学]

主なゼミテーマ

- 算数教材を通しての数学的な見方・考え方に関する研究
- 知の技法(読む・話す・書く・考える)のレッスン
- 物語文(絵本・児童文学)の研究
- 現代の子どもの育ちと学習を取り巻く問題とその支援について考える
- 社会科教育および教育に関する研究
- 個人・家族・地域社会における生活課題に関する研究の基礎
- 小学校外国語教育および外国語科教材に関する研究

PICK UP (ゼミの学び)

ゼミテーマ | 個人・家族・社会における日常生活課題に関する研究

倉元 綾子 教授

日常生活の課題を探究する中で、課題解決力を身に付ける。

現代の日本には、虐待や貧困、労働環境問題、ジェンダー問題など、個人・家族・社会における様々な子どもの課題が存在します。本ゼミでは、その課題に対し米国等での家族生活教育など先駆的な取り組みに学びながら、解決するために何をすべきか研究し行動につなげることを目指します。ゼミ生は文献講読やフィールドワークで関心のあるテーマを研究し、発表。様々な課題の背景、文脈を多様な視点から解明する力を付け、活躍できる素養も培います。





STUDENT'S VOICE

少人数制でグループワークも多く、自分たちで試行錯誤することで力が付きます。

古賀 萌々香 人間科学部児童教育学科 4年 (佐賀県・佐賀県立武雄高等学校出身)

私は幼少時から先生になることが夢で、幼稚園と小学校、どちらの教諭を目指すか迷っていたため、両方の免許が取得できるこの学科を選びました。数学のゼミに所属しており、苦手科目ですが、好きになりたくて選択。少人数ならではの温かい雰囲気できれいな意見交換し、充実した時間を過ごしています。2年次からの「教育研究」の授業では教材研究や模擬授業などのグループワークを通して協調性を養うことができました。小学校教諭への道を選んでからは、現役の先生方を招いた教員採用試験対策の勉強会に参加。他にも集団討論や自己PRの添削などの充実したサポートを受け、仲間と共に夢に向かって頑張っています。